

問 「補助金を受ける事業所は私のところに挨拶に来ないとダメだ」などと、私的な理由で長期間にわたり起案を決定しなかったのは事実か。記憶がはつきりしないが、自身がそのような理由で予算をつけなかったという事実はない。



録画配信はこちらから



高校魅力化について

問 学校の要望を取り入れた施策を検討する意見交換の機会を設けてほしい。また高校でのコミュニティ・スクールの設置を提案したいがどうか。

答 市総合計画に位置づけることや、高校魅力化の方針策定が必要であり、地域や関係者との意見交換のための体制整備を含めて検討していく。

稼げる観光振興について

問 旅先納税は、生産者との顔の見える関係性の構築などふる

さと納税以上の効果が見込まれるが、取り組む考えはないか。

答 旅先納税は、利点もある一方、電子端末の導入が新たに必要となり、5割以下の寄附募集経費への影響も想定されることから慎重に検討していく。

問 十八駅伝参加チーム減少の一因は猛暑だと考える。開催時期と大会内容を見直すべきであり、稼ぐ仕組みも必要ではないか。

答 開催期日や大会内容について、チームが参加しやすい環境づくりを努めていく。なお、参加チームの多くが市内に宿泊しているほか、大会はテレビ放映され、地域活性化にも貢献している。

質問した項目

- 市長のパワハラ又はパワハラ的な言動等に関する実態調査報告書について
- 熊対策について
- 高校魅力化について
- 道の駅かづの指定管理料について
- 稼げる観光振興について

金澤 大輔 議員（鹿真会・公明）
質問時間 60分

問 伐採後に造林されていない山が目立つ。50年後に民有林の製品木がゼロになるおそれがあり、伐採後の指導を強く要望するが市の考えは。森林経営管理制度により森林の集約、再造林の促進を図り再造林率の向上に努めていく。



録画配信はこちらから



上沼風力発電について

問 大湯支所に風力発電事業者2者より環境配慮書が提出されているが、今後の進め方と過程は。

答 風力発電事業に当たっては環境アセスメントにより、事業者自らが検討や調査、予測及び評価を行うことが求められている。

現在、計画段階環境配慮書の縦覧期間が終了し、今後、環境影響評価方法書が作成され、地域住民等の意見聴取が行われる。その後、各種環境調査を経て環

鳥獣被害について

問 本市の有害鳥獣の種類及びそれぞれの被害と駆除数、今後の対策は。

答 ツキノワグマ、イノシシ、ニホンジカ、カラス、ノウサギによる農林業被害が報告されている。令和5年度の農林業被害は面積約30ヘクタール、被害額は約690万円であり、駆除数はツキノ

ワグマ175頭、イノシシ3頭、タヌキ3頭となっている。今後、捕獲強化のほか、周囲の刈払いや電気柵の設置、廃棄物の適切処分等の啓発を行っていく。

宮野 和秀 議員（誠心会）
質問時間 30分